

(2018年度)

# 1 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は22ページ，4問である。)

## 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきらずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 縄文時代の生活・文化に関する次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

縄文時代は、水稲灌漑農耕の始まる弥生時代と並んで、列島文化の起源と位置づけられることも多い。その始まりは、現在から1万年ほど前に遡るが、気候も氷河時代を脱して温暖化し、これまで陸地であった低地に海水が浸入して多くの入り江が出現、変化に富んだ景観が形成されるに至った。列島を覆っていた亜寒帯性の(ア)林に替わり、温帯性の森林が復活して、東日本ではブナやナラなどの(イ)林が、西日本ではシイやカシなどの(ウ)林が広がっていった。かつてツンドラを徘徊していた大型ほ乳類は絶滅し、森林に適応したシカやイノシシが増えていった。

人々の生活も、この自然環境の変化に対応して変わっていった。まず狩猟のあり方だが、ステップやツンドラで大型動物を獲るために用いられた飛距離の長い(エ)は、森林のなかでも使用しやすい(オ)を用いた猟法に移行した。また、新たに出現した入り江では、多様な漁労具を駆使して魚介類が捕獲・採集された。狩猟における(カ)、漁労における(キ)の使用は、捕獲するまで対象を追跡し続けなければならなかった氷河時代の狩猟と異なり、生活の効率化を可能にした。しかし、この時代の最大の発明品は、やはり土器であろう。未だ  技術が未熟であったため黒褐色で厚手であり、(ク)の文様を持つものが多かったことから「縄文土器」と名づけられた。用途は食品の(ケ)や(コ)であるが、とくに、土器によってクリやシイなどの堅果類を(コ)でできるようになったことは、人体がその栄養素を取り込むうえで画期的な意味を持っていた。堅果類のでんぷんは分子構造が極めて強固であり、ヒトの消化器官では、生の堅果類から糖分を摂取することはできない。しかし(コ)や、長時間水にさらす(サ)によって分子構造が壊れるため、糖分を摂取することができるようになるのである。縄文時代を生きた人々は、この漁労や堅果類の(コ)によって、氷河期の大型動物の捕食に釣り合う栄養価を獲得することが可能になった。

温暖な気候のもと、食物の獲得法も多様化したため、人々の集住のあり方も、冬は 、夏は  といった半定住の状態から、次第に本格的定住

化が進み大規模な集落も営まれるようになった。前期～中期の巨大集落である青森県の(シ)遺跡には、何棟もの竪穴住居が林立し、大型の建物も存在したことが確認されている。同遺跡には不自然に(ス)が群生している地域も発見され、意図的に形成されたものではないかとの推測もある。すでに前期頃には、ヤマモなどの保護・増殖、マメ類・エゴマ・ヒョウタンなどの栽培が、また一部では、コメ・ムギ・アワ・ヒエなどの原始農耕が開始されていたとの指摘もある。<sup>(e)</sup>

しかしその生活が、自然環境からの恵みに依拠していた点は否定できず、これを能動的に作り変えてゆく動きは、未だ弱かった。女性を象ったものの圧倒的に多い(セ)や、生殖器を模した(ソ)などは、自然の豊かな恵みを祈る呪術<sup>(f)</sup>や祭儀に用いられたと考えられている。土壙墓を円環状に配した環状列石<sup>(g)</sup>なども、日月の運行や季節の循環にみるような自然のサイクルに合致させることで、生命の再生を願うような信仰に基づいていたのかもしれない。

問1 例題文中の空欄(ア)～(ソ)にあてはまるもっとも適切な語句を、次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |        |       |       |         |        |
|--------|-------|-------|---------|--------|
| ① 灰汁抜き | ② 網   | ③ 弩   | ④ 板付    | ⑤ イネ   |
| ⑥ 落とし穴 | ⑦ 屈葬  | ⑧ 栗   | ⑨ 胡桃    | ⑩ 貢納   |
| ⑪ 三内丸山 | ⑫ 黒曜石 | ⑬ 殺菌  | ⑭ 煮沸    | ⑮ 照葉樹  |
| ⑯ 針葉樹  | ⑰ 炊飯  | ⑱ 須恵器 | ⑲ 石棒    | ⑳ 打製石斧 |
| ㉑ 銅鐸   | ㉒ 土偶  | ㉓ 投槍  | ㉔ 縄目    | ㉕ 布目   |
| ㉖ 熱帯雨  | ㉗ 抜歯  | ㉘ 埴輪  | ㉙ 翡翠    | ㉚ 保存   |
| ㉛ 磨製石斧 | ㉜ 弓矢  | ㉝ 登呂  | ㉞ 落葉広葉樹 |        |
| ㉟ 冷凍   |       |       |         |        |

問2 下線部(a)(b)について、近年では、弥生時代の開始を約2800年前に遡らせる見解がある。この見解が依拠する年代測定法を何というか、また、それに基づく縄文時代の始まりは約何年前となるか。前者にあてはまる語句を a 群から、後者にあてはまる年数を b 群から、それぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

[a群]

- ① 年輪年代法      ② 炭素14年代法      ③ 較正炭素年代法
- ④ 年縞分析法

[b群]

- ① 1万3500年前      ② 1万4500年前      ③ 1万5500年前
- ④ 1万6500年前

問3 下線部(c)について、この現象を一般に何と呼ぶか。次からもっとも適切な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 津波      ② 大潮      ③ 海進      ④ 地盤沈下

問4 下線部(d)について、空欄(キ)の漁労具に取り付けて使用するものは何か。次からもっとも適切な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 石鏟      ② 釣り針      ③ 銛      ④ 石錘

問5 下線部(e)について、岡山県の朝寝鼻貝塚では、縄文前期～中期に陸稻の行われていた可能性を示す、イネ科の植物に起源するある物質が検出されたが、それは何か。次からもっとも適切な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ① プラントオパール      ② サヌカイト      ③ 放射性炭素14
- ④ 炭化した米粒

問6 下線部(f)について、縄文の精神文化の背景をなすアニミズムを、正しく説明した文章はどれか。次からもっとも適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 超自然的な存在や神秘的な力に働きかけ、種々の現象を起こさせようとする行為。
- ② 岩石・樹木などすべての自然物や動植物に靈魂が存在するとして、それを畏怖・崇拜する原始信仰。
- ③ 神がかりや脱魂を行う宗教者が、共同体の祭祀や儀式を担う信仰の形態。
- ④ 老荘哲学や不老不死の神仙に憧れ、それになることを願う神仙思想を採り入れた、不老長寿の方術・養生術。

問7 下線部(g)について、環状列石を持つ遺跡はどれか。次からもっとも適切な語句を一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 伊勢堂岱遺跡
- ② 大森貝塚
- ③ チカモリ遺跡
- ④ 真脇遺跡

問8 空欄 

|   |
|---|
| あ |
|---|

 について、縄文土器が、次代の弥生土器などと比べて黒褐色で厚手なのは、どのような技術が未熟であったためか。次からもっとも適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 品質のよい土を採取する
- ② 土を適切に配合し品質のよい粘土を作る
- ③ 粘土を高温で焼成する
- ④ 焼成した土器を思いどおりに整形する

問9 縄文時代の人々は、季節によって自然環境から獲得できる資源を、最大限に利用することで生活していた。移住と定住を半ばする半定住の状態は、そのことと関連がある。彼らが季節ごとに獲得していた食資源について考え、空欄  ・  に当てはまるもっとも適切な語句を、次から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ① 山頂      ② 山の中腹の洞窟      ③ 山麓の森林      ④ 草原  
⑤ 岩場      ⑥ 水辺(海辺)      ⑦ 海洋上      ⑧ 移動生活

2 日本の「中世」と「院政期」について述べた以下の文章を読んで、関連するあとの問いに番号で答えなさい。

俗にいう「院政期」は、日本史上の平安時代後期からに該当することもあって、20世紀までの高校教科書などでは、一般的に「古代」に区分される例が多かった。しかし、近年では「古代」よりも「中世」に区分している教科書が多いように見受けられる。

その理由として、例えば「封建制」への歴史認識の変化や、当時の社会・経済体制への研究の深まりなどを指摘できよう。このあたりは、歴史学の本流である、政治・経済・社会の変化に重きを置く立場からの発言であるようにも見える。現実には、教科書記述などの変化を確認するとき、ここで指摘した時代認識が、日本史学の主流となっていることは実感されるところである。つまり、近年の複数の検定教科書において、「院政期」の属する「平安時代後～末期」を「中世」に章立した事例が散見されることは、容易に確認できる。

他方、歴史学の多面性から述べると、先述した政・経・社会とは異なる視角からの提言も可能となるだろう。例えば、間接資料や情況解釈、文化の多様性を重視する立場では、ここで問題としている「時代の転機」をどのように解釈して、歴史的にどのように位置づけられるだろうか。あまり表立って検証されていないが、前述した一般的歴史学の視点からの時代への認識が、額面通りの正当性があるとすれば、時代の背景を望見する「文化史」の視点とも大きな矛盾を生じないこ

とは容易に想像できる。

更に、文化的な事象を手懸りに古代から中世への移行期を考えると、前掲した政・経・社会といった視野と、やや異なった姿が浮かんでくる。勿論、全体的には、基本的に前代の国風文化を継承する浄土教中心の文化が続いているが、この時期の美術や芸術の各分野では、明らかに新しい時代の到来を実感させる具体例を挙げる事が可能となる。その一例として仏像彫刻の分野では、仁平元年(1151)銘を持つ、奈良・長岳寺の阿弥陀三尊像の存在が注目される。木彫の本像は、眼の造形技法に鎌倉彫刻の特色である「玉眼」を用いた初見として知られるが、その立体的な造形や力強い表現は、一世代下がる名匠「運慶」の作風を連想させるところもあり、新時代への画期的作例と認識されている。また、実際に武士との関係の深い文化財もこの時期に散見される。「軍記物」の流行はいうに及ばず、平氏と関わりの深い装飾経や、地方武士の後援を想起させる阿弥陀堂建築の全国的広がりなども注目すべきであろう。

文献資料の面では、やはり慈円による記述が重要で、彼の著作にある「これより武者の世となる」という意味の一文は、古代から中世への劇的な転換期を伝えていて余り無い。こうした文化事象の変化にも目を向けると、「中世」の始まりは、必ずしも「院政」の開始と同時期ではなく、少なくともやや時代の下る12世紀の半ば過ぎからと考えることも可能であろう。

問1 上記の文章に関連する以下の問いに答えなさい。

(1) 本格的な「院政」を最初に始めた人物(上皇)は誰か、歴史的に最も正しいものを一名選びなさい。

- ① 堀河    ② 鳥羽    ③ 後鳥羽    ④ 高倉    ⑤ 白河  
⑥ 後白河

(2) 前問(1)の人物が院政を開始した西暦年代はいつか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 1052年    ② 1072年    ③ 1086年    ④ 1091年    ⑤ 1102年  
⑥ 1129年

(3) 前問(1)の人物の、天皇在位期間と院政期間と併せた統治期間は、ほぼどのくらいにあたるか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 12年間    ② 24年間    ③ 32年間    ④ 43年間    ⑤ 48年間  
⑥ 57年間

(4) 前問(1)の人物が院政を始めるにあたって即位させた天皇は誰か、歴史的に最も正しいものを一名選びなさい。

- ① 崇徳    ② 後白河    ③ 白河    ④ 二条    ⑤ 後鳥羽  
⑥ 堀河

(5) 前問(1)の人物の父親であった天皇は誰か、歴史的に最も正しいものを一名選びなさい。

- ① 鳥羽    ② 後三条    ③ 堀河    ④ 高倉    ⑤ 二条  
⑥ 土御門

(6) 上皇の居所をどのように呼んだか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 院庁    ② 院所    ③ 院館    ④ 院殿    ⑤ 院曹司  
⑥ 院御所

(7) 別当以下の職員を擁する院の家政機関をどのように呼んだか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 院庁    ② 院所    ③ 院館    ④ 院殿    ⑤ 院曹司  
⑥ 院御所

(8) 前問(7)の職員のうちで該当する名称のものはどれか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 大国    ② 中男    ③ 小臣    ④ 放下    ⑤ 雑頒  
⑥ 年預



(9) 前問(1)の人物のように、直系子孫を天皇の位につけて院政を行う上皇で、政治の実権を掌握した人物を俗にどのように呼んだか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 尊皇          ② 至上君子      ③ 雲上人      ④ 天下人  
⑤ 執行権主      ⑥ 治天の君

(10) 前問(1)の人物の時、前問(6)の場所を警護する役目の武士をどのように呼んだか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 青面の武士      ② 白面の武士      ③ 前面の武士  
④ 後面の武士      ⑤ 西面の武士      ⑥ 北面の武士

(11) この時期の重要史料として注目される、藤原宗忠の日記の名称はどれか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 『水左記』      ② 『権記』      ③ 『西宮記』      ④ 『小右記』  
⑤ 『中右記』      ⑥ 『北山抄』

(12) この時期、善政を行い「末代の賢王」と呼ばれた天皇の実父はどの天皇か、歴史的に最も正しいものを一名選びなさい。

- ① 堀河      ② 白河      ③ 後三条      ④ 二条      ⑤ 朱雀  
⑥ 鳥羽

(13) この時期、京都白河の地に建てられたいわゆる六勝寺の内で、天皇の御願寺でないものはどれか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 延勝寺      ② 最勝寺      ③ 尊勝寺      ④ 円勝寺      ⑤ 成勝寺  
⑥ 法勝寺

(14) 前問(13)の寺院のうち、鳥羽天皇との関係が最も深いものはどれか、歴史的に正しいものを一つ選びなさい。

- ① 延勝寺    ② 最勝寺    ③ 尊勝寺    ④ 円勝寺    ⑤ 成勝寺  
⑥ 法勝寺

(15) 前問(13)の寺院のうち、堀河天皇との関係が最も深いものはどれか、歴史的に正しいものを一つ選びなさい。

- ① 延勝寺    ② 最勝寺    ③ 尊勝寺    ④ 円勝寺    ⑤ 成勝寺  
⑥ 法勝寺

問2 院政期に関する、前掲文章の後半部分に関連する以下の問いに答えなさい。

(1) 院政期の成立が想定される軍記物『陸奥話記』の中心となる合戦は何か、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 前九年合戦    ② 後三年合戦    ③ 平将門の乱  
④ 藤原純友の乱    ⑤ 保元の乱    ⑥ 平治の乱

(2) 前問(1)の合戦での主要な人物は誰か、歴史的に最も正しいものを一名選びなさい。

- ① 源頼義    ② 平忠常    ③ 小野好古    ④ 源経基  
⑤ 藤原通憲    ⑥ 藤原頼長

(3) 前掲文章でふれている、平氏ゆかりの「装飾経」の内、最も著名なものは何か、歴史的に正しいものを一つ選びなさい。

- ① 『平家物語絵巻』    ② 『平家観音経』    ③ 『平家納経』  
④ 『山王靈験記絵巻』    ⑤ 『慕婦絵詞』    ⑥ 『扇面古写経』

(4) 前問(3)の「装飾経」は、どこに奉納されたか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 春日大社      ② 日吉大社      ③ 出雲大社      ④ 八坂神社  
⑤ 屋島寺      ⑥ 厳島神社

(5) 前問(3)の「装飾経」の成立年代はいつごろか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 1140年代      ② 1150年代      ③ 1160年代      ④ 1170年代  
⑤ 1180年代      ⑥ 1190年代

(6) 前掲した文中で言及している慈円の著作は何か、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 『江談』      ② 『沙石集』      ③ 『愚管抄』      ④ 『百練抄』  
⑤ 『十訓抄』      ⑥ 『水月記』

(7) 前問(6)の著作は、歴史上のある事件の直前に著されているが、その事件は何か、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 保元の乱      ② 平治の乱      ③ 源頼朝の挙兵  
④ 屋島・壇の浦の合戦      ⑤ 奥州藤原氏の滅亡      ⑥ 承久の乱

(8) 前問(6)の著作にある、「これ」より武者の世という一節で、「これ」にあたる歴史上の事件は何か、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 保元の乱      ② 平治の乱      ③ 源頼朝の挙兵  
④ 屋島・壇の浦の合戦      ⑤ 奥州藤原氏の滅亡      ⑥ 承久の乱

(9) 前問(8)にあたる事件の発生と、前問(6)の著作の成立との間には、ほほどのくらいの隔りがあるか、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 1年以内      ② 10年      ③ 20年      ④ 40年      ⑤ 50年  
⑥ 60年以上

(10) 前問(6)の著作に通底している観念は何か、歴史的に最も正しいものを一つ選びなさい。

- ① 道理            ② 現世利益        ③ 無常観        ④ 尊王論  
⑤ 神仏習合       ⑥ 経世思想

**3** 次の文章は織田信長についての説明文である。各問いに答えなさい。

織田信長は尾張守護代の家臣であった(ア)の子で、1555年に守護代を滅ぼしてその居城(あ)城を奪い、領国を統一した。1560年、侵入してきた(イ)を桶狭間の戦いで破り、1567年には、美濃の斎藤氏を滅ぼして濃尾平野を支配下においた。その居城であった美濃の稲葉山城を(い)城と改名してここに移り、「天下布武」の印判(a)を使用して天下統一の意志を明らかにした。翌年信長は、暗殺された第13代将軍(ウ)の弟で信長の力を頼ってきた(エ)をたてて入京し、将軍職につけて、全国統一の第一歩を踏み出した。しかし、信長は将軍の勤める管領・副将軍への任官を辞退して幕府体制から一定の距離をおき、朝廷に対しては、内裏の修理を進めるなどして支援した。(オ)の皇子誠仁親王(b)を形式上の養子とするなどして、伝統的な権威をみずからの手中におこうとした。

1570年、信長は姉川の戦いで近江の(カ)と越前の(キ)の連合軍を破り、翌年にはその陣営に加担した比叡山延暦寺(c)を焼き打ちにした。1573年、信長によってしだいに権限を奪われた(エ)は、将軍権力の回復をめざして浅井・朝倉・武田の諸氏と結んで信長に反抗していたが信長の勢いをくいとめることはできず、室町幕府は滅亡した。(d)1575年、信長は三河の長篠合戦で(ク)を敗走させ、また翌年には安土城を築き始めた。(e)

また、信長に敵対した最大の勢力は(ウ)に拠点をおいて戦った浄土真宗本願寺派(f)(一向一揆)であった。その11代門主(ケ)は、1570年、諸国の門徒に信長と戦うことを叫びかけて挙兵し、1580年にいたるまでの両者の抗争がつづいた。1574年、信長は伊勢長島の一向一揆を滅ぼし、翌年には越前の一向一揆を平定し、1580年には、本願寺と講和の後、(ウ)から退去させた。

信長の経済政策として注目されるのは、これまで交通の障害となっていた関所<sup>(g)</sup>の撤廃を積極的に進め、安土の城下町には楽市・楽座<sup>(h)</sup>をだして来住した商工業者に自由な営業をみとめるなどして新しい政策を打ち出したことである。信長は1568年の入京後、全国一の経済力を持つ自由都市として繁栄を誇った(え)に高額の矢銭(軍用金)を要求し、(え)がこれを拒否して反抗すると、翌年、<sup>(i)</sup>(え)を直轄領とするなどして、畿内の高い経済力を自分のもとに集中させた。<sup>(j)</sup>

問1 文中の空欄(ア)～(ケ)にあてはまる人名を、以下の語群から選びなさい。

- |        |        |         |         |
|--------|--------|---------|---------|
| ① 柴田勝家 | ② 足利義政 | ③ 武田信玄  | ④ 後奈良天皇 |
| ⑤ 顕如   | ⑥ 上杉謙信 | ⑦ 織田信雄  | ⑧ 足利義昭  |
| ⑨ 羽柴秀長 | ⑩ 朝倉義景 | ⑪ 今川義元  | ⑫ 足利義輝  |
| ⑬ 北条氏直 | ⑭ 武田勝頼 | ⑮ 足利義晴  | ⑯ 蓮如    |
| ⑰ 足利義尚 | ⑱ 織田信秀 | ⑲ 後水尾天皇 | ⑳ 足利義教  |
| ㉑ 浅井長政 | ㉒ 丹羽長秀 | ㉓ 正親町天皇 | ㉔ 富樫政親  |
| ㉕ 蒲生氏郷 | ㉖ 北条氏政 | ㉗ 覚如    | ㉘ 後醍醐天皇 |
| ㉙ 黒田長政 | ㉚ 織田信忠 |         |         |

問2 文中の空欄(あ)～(え)にあてはまる地名を、以下の語群から選びなさい。

- |       |      |      |        |      |
|-------|------|------|--------|------|
| ① 岐阜  | ② 山科 | ③ 兵庫 | ④ 安土   | ⑤ 吉崎 |
| ⑥ 浜松  | ⑦ 清洲 | ⑧ 坂本 | ⑨ 大坂石山 | ⑩ 堺  |
| ⑪ 名古屋 | ⑫ 博多 |      |        |      |

問3 下線部(a)について、「天下布武」とは「七徳の武」をもって天下を治めるという意味である。次に掲げる説明のうち、それら「七徳」にふくまれないものはどれか。①～⑤の記号の中から選びなさい。

- |          |           |        |
|----------|-----------|--------|
| ① 戦いをやめる | ② 財を豊かにする | ③ 慈を尊ぶ |
| ④ 民を安んじる | ⑤ 衆を和する   |        |

問4 下線部(b)について、1582年、信長の任官について話し合いが持たれた。この際、三職のうちどれかに任官させることが話し合われた。これを三職推任問題というが、以下に掲げる職のうちこのときの三職に該当しないものが二つある。①～⑤の記号のなかから選びなさい。

- ① 大納言    ② 征夷大將軍    ③ 左大臣    ④ 関白
- ⑤ 太政大臣

問5 下線部(c)について、姉川の戦いで織田軍と連合軍を結成した武將は誰か。①～⑤の記号で答えなさい。

- ① 武田信玄    ② 今川義元    ③ 荒木村重    ④ 徳川家康
- ⑤ 高山右近

問6 下線部(d)について、当時、この寺とともに寺社勢力として大きな力を持っていた奈良の寺院は何か。①～⑤の記号から一つ選びなさい。その寺の僧侶英俊の手になる日記は信長時代を知る重要な史料となっている。

- ① 東大寺    ② 法隆寺    ③ 薬師寺    ④ 唐招提寺    ⑤ 興福寺

問7 下線部(e)について、室町幕府が実質的に力を失い始めたのは、母を日野富子とする將軍の代であったとする研究者がいる。この將軍は誰か。①～⑤の記号から一つ選びなさい。

- ① 足利義持    ② 足利義教    ③ 足利義尚    ④ 足利義輝
- ⑤ 足利義晴

問8 下線部(f)について、浄土真宗本願寺派を再興した蓮如は、最初、琵琶湖畔に拠点をおいたが旧仏教勢力の圧力に押され加賀・越前国境の地に移り、さらにここも退去して、ある地で没した。そこは1532年まで本願寺派の拠点であった。その地名はどこか。①～⑤の記号から一つ選びなさい。

- ① 堅田    ② 山科    ③ 金沢    ④ 石山    ⑤ 吉崎

問9 下線部(g)について、京都と北陸を結ぶシーレーン沿いに多数の荘園を所有し、かつ多くの収入を関所と金融および荘園から得ていたが、信長の関所撤廃をもって直接の打撃をうけた勢力がある。その勢力を①～⑤の記号から一つ選びなさい。

- ① 比叡山延暦寺      ② 近江領主六角氏      ③ 奈良興福寺  
④ 山城領主細川氏      ⑤ 京都五山天龍寺

問10 下線部(h)について、信長は安土のものより以前、楽市・楽座を実施している。その場所はどこか。記号①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 三河      ② 尾張      ③ 美濃      ④ 山城      ⑤ 摂津

問11 下線部(i)について、このとき、他の指導者たちを説得し、信長との仲介役となり、後に信長の信頼が厚かった豪商で、茶の湯の三宗匠にも数えられる人物は誰か。記号①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 今井宗久      ② 小西隆佐      ③ 末吉孫左衛門      ④ 鳥井宗室  
⑤ 千利休

問12 下線部(j)について、信長がこうした行動に出る前、この町の近郊で、足利将軍を討った三好三人衆とある人物が紛争状態となっていた。その人物は後に信長の配下にくみこまれた。東大寺大仏殿を焼き、最期は信長に反旗を翻して没した。その武将とは誰か。記号①～⑤から一つ選びなさい。

- ① 明智光秀      ② 和田惟政      ③ 松永久秀      ④ 荒木村重  
⑤ 三好長慶

問13 信長は、宗教政策にも気を配ったことで知られている。1579年、信長の命により、安土で二つの宗派が宗論(宗教討論)を実施している。その両陣営の組み合わせのうち、正しいものを①～⑤の記号から一つ選びなさい。

- ① 日蓮宗と浄土真宗            ② 浄土宗と臨済宗
- ③ 浄土真宗とキリシタン      ④ キリシタンと浄土宗
- ⑤ 日蓮宗と浄土宗

問14 信長は將軍権力にとってかわる新たな支配構造を模索していたようにみえる。それは足利幕府への対抗と畿内政治の掌握という側面があった。その畿内政治において、信長以前、足利將軍家を押しのけ、はじめて足利將軍家ではなく実権を握り、河内の飯盛山城に居城を持った人物の名を記号①～⑤のなかから一つ選びなさい。

- ① 細川政元      ② 細川晴元      ③ 三好長慶      ④ 三好長逸
- ⑤ 畠山高政

**4** 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本経済は、1955年から1973年の第一次オイルショックに至るまで年平均10パーセント前後の経済成長率を記録した。

戦後、日本経済は(ア)によって深刻な不況に陥っていたが、(あ)年から5年続いた(イ)の特需によって活気を取り戻し、(い)年度の『経済白書』は「もはや『戦後』ではない」と記した。その後は(ウ)や民間企業の活発な設備投資、銀行による低金利の融資、政府による(エ)や補助金の交付による経済成長が推し進められた。先進技術を生産過程だけでなく品質管理などさまざまな分野に導入する過程で日本的経営が確立した。労働力不足は(オ)と呼ばれた若い世代が全国から都市に働きに出ることで解消された。特に京葉・京浜・中京・阪神・瀬戸内・北九州と続く地帯には多くの産業と人口が集中した。

産業構造の高度化に伴い工業生産額の3分の2を安価な原油の安定的供給に支



えられた(カ)が占めるようになった。1960年代は(キ)の特需などを背景に大幅な貿易黒字が続き、(ウ)年には国民総生産(GNP)が西ドイツを抜いて世界第二位になった。1962年に公布した新産業都市建設促進法で地方にコンビナートなどを建設し、資本と人口を分散させ、都市問題と地域格差の解消を試みたが、実際には三大都市圏に資本と人口が集中した。

(ク)内閣は1960年に国民所得倍増計画を閣議決定し、実際に工場労働者の賃金は大幅に上昇し、農家の所得も増加したことで拡大した国内市場は更なる経済成長をもたらした。新聞や雑誌、書籍類の出版部数も激増し、(エ)年に始まったテレビ放送などとともに日本人の生活様式の画一化を進め、人々の間には(ケ)が広まった。消費は美德として考えられるようになり、三種の神器と呼ばれた白黒テレビ、冷蔵庫、(コ)に代表される耐久消費財が普及、大衆消費社会が到来した。例えば白黒テレビの普及率は1960年の44.7パーセントから65年の90パーセントへと急上昇したが、1966年に始まったいざなぎ景気で改めて消費ブームが加熱、カラーテレビへの買い替えが進んだ。

しかし、高度経済成長は様々な問題も生み出した。大都市では人口の過密化により交通渋滞や騒音、大気汚染が発生した。高速道路の建設も始まり自動車が生活の中心となるモータリゼーションが進んだ一方で交通事故は増加、毎年(サ)人前後の死者が出た。都市部で住宅不足が発生すると(シ)化し、各地で無秩序な開発が進んだ。2DKの公団住宅など核家族向けの集合住宅群の建設が計画された。農山漁村部では逆に人口が減少し、防災や教育、保険、交通など地域を支える基本的機能の維持が困難になる(ス)を抱えた。

公害問題に対する対処の遅れは各地で住民の反発を招き、多くの大都市で(セ)が生まれ、新しい首長の下で公害規制や福祉政策が進められた。1967年には公害対策基本法が制定され、事業者・国・地方自治体の責任が明らかにされたが、(ソ)内閣で更に14の公害関連法案が成立した。(オ)年には環境庁が発足、ばらばらに行われていた公害行政と環境保全施策の一本化がはかられた。四大公害病の訴訟などを経て、公害対策と被害者の救済が徐々に進められた。

問1 文中空欄( あ )～( お )にあてはまる西暦年を、次の中からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 1950    ② 1951    ③ 1952    ④ 1953    ⑤ 1956    ⑥ 1957  
⑦ 1960    ⑧ 1964    ⑨ 1966    ⑩ 1967    ⑪ 1968    ⑫ 1970  
⑬ 1971    ⑭ 1972    ⑮ 1973

問2 空欄( ア )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 財政構造改革法    ② マーシャル＝プラン  
③ ドッジ＝ライン    ④ プレトン＝ウッズ体制  
⑤ 金融緊急措置令    ⑥ シャウブ勧告

問3 空欄( イ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 冷戦    ② 朝鮮戦争    ③ ベトナム戦争  
④ イラン・イラク戦争    ⑤ 第二次中東戦争    ⑥ インドシナ戦争

問4 空欄( ウ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 減量経営    ② エネルギー革命    ③ 石油戦略    ④ 技術革新  
⑤ 農地改革    ⑥ 資本の自由化

問5 空欄( エ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 租税特別措置    ② 減反政策    ③ 金融緊急措置令  
④ 傾斜生産方式    ⑤ 貿易・為替の自由化    ⑥ 財政再建

問6 空欄( オ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 集団就職者    ② 金の卵    ③ ベビーブーマー    ④ 新人類  
⑤ 団塊の世代    ⑥ 単純労働者

問7 空欄( カ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ハイテク産業    ② 自動車産業    ③ 第三次産業    ④ 精油産業  
⑤ 重化学工業    ⑥ 軽工業

問8 空欄( キ )にあてはまる最も適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 冷戦    ② 朝鮮戦争    ③ ベトナム戦争  
④ イラン・イラク戦争    ⑤ 第二次中東戦争    ⑥ インドシナ戦争

問9 空欄( ク )にあてはまるもっとも適切な人名は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 三木武夫    ② 田中角栄    ③ 佐藤栄作    ④ 福田赳夫  
⑤ 岸信介    ⑥ 池田勇人

問10 空欄( ケ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 中流意識    ② 平民主義    ③ 消費者意識    ④ 三無主義  
⑤ 消費革命    ⑥ 保守主義

問11 空欄( コ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 電化製品    ② 自動車    ③ 洗濯機    ④ クーラー  
⑤ 掃除機    ⑥ 乾燥機

問12 空欄( サ )にあてはまるもっとも適切な数字は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 5千    ② 1万    ③ 2万    ④ 3万    ⑤ 4万    ⑥ 5万

問13 空欄( シ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ニュータウン                      ② ドーナツ            ③ スラム  
④ ジェントリフィケーション    ⑤ スプロール        ⑥ 郊外

問14 空欄( ス )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 極点社会                      ② 過疎問題            ③ 限界集落            ④ 格差問題  
⑤ 少子高齢化問題            ⑥ 財政問題

問15 空欄( セ )にあてはまるもっとも適切な語は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 住民運動            ② 革新自治体            ③ 大気汚染            ④ 奇形児  
⑤ 保守自治体            ⑥ 公害病

問16 空欄( ソ )にあてはまるもっとも適切な人名は何か。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 三木武夫            ② 田中角栄            ③ 福田赳夫            ④ 岸信介  
⑤ 佐藤栄作            ⑥ 池田勇人

問17 前掲の文章中の下線部(a)～(e)に関する次の問いに答えなさい。

(1) 下線部(a)の中にはいないものはどれか。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 終身雇用      ② 年功序列      ③ 成果主義      ④ 労使協調

(2) 下線部(b)が第一次オイルショックで終わった結果生じた出来事について、もっとも不適切なものはどれか。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① トイレtpaperなどの日用品がスーパーの店頭から姿を消し、市民生活が混乱に陥った。  
② 経済成長率の低下、物価上昇、経常収支の赤字に直面した。  
③ 産業構造が重厚長大産業から知識集約型産業へと転換した。  
④ 物価上昇に対応するため経済安定のための十原則が閣議決定された。

(3) 下線部(c)の背景としてもっとも不適切なものを一つ選びなさい。

- ① 労働生産性の向上  
② 労働三法の制定  
③ 労働者の不足  
④ 春闘方式の導入

(4) 下線部(d)が可能になった説明として正しくないものはどれか。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 大量生産、大量販売体制の確立  
② 割賦販売制度の普及  
③ 拡大家族世帯の増加  
④ エンゲル係数の上昇

(5) 下線部(e)に関する記述として正しいものはどれか。次の中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 四大公害病の訴訟ではいずれも被害者側が勝訴した。
- ② いずれも1950年代にはじめて発生が確認された病気である。
- ③ 水質, 土壌, 大気の汚染に由来する病気である。
- ④ 公害対策が遅れた最大の原因は, 因果関係の立証が困難だったことである。



